

レジメン名

T-Dxd
(Trastuzumab Deruxtecan)

出典 エンハーツ適正使用ガイド2025年10月改訂
DESTINY-Breast06試験

実施部署区分

☒入院 ☒外来 ☐処置

対象疾患

乳がん

☒進行・再発 (HER2陽性、低発現、超低発現)
☐補助療法 (術前・術後)
☐
☐

	減量基準		処置
LVEF	40%≦ LVEF≦ 45%	ヘースラインからの絶対値の低下<10% ヘースラインからの絶対値の低下≧10%かつ≦20%	休業を考慮 休業し、3週間以内に再測定。 LVEFのヘースラインからの絶対値の低下<10%に回復しない場合は投与中止
	LVEF<40%又はヘースラインからの絶対値の低下>20%		休業し、3週間以内に再測定。 再度LVEF<40%又はヘースラインからの絶対値の低下>20%が認められた場合は投与中止

1クール期間 21日 総クール数 PDまで
(次のクールまでの標準期間)

	減量基準	再開の程度	再開用量
Infusion reaction	Grade1	Grade1 以上	投与速度50%減速 症状なければ次回以降は元の速度で投与
	Grade2		投与速度50%減速 次回以降も50%減速
ANC	1000/mm ³ 未満 500/mm ³ 未満	1000/mm ³ 以上	同一用量又は 1用量レベル減量 1用量レベル減量
	Hb 8.0g/dL未満 Grade4		同一用量 1用量レベル減量
PLT	5万/mm ³ 未満 2.5万/mm ³ 未満	7.5万/mm ³ 以上への回復が7日以内 7.5万/mm ³ 以上への回復が7日を超える 7.5万/mm ³ 以上	同一用量 1用量レベル減量 1用量レベル減量
	T-Bil 1.8mg/dLを超える 3.6mg/dLを超える	1.8mg/dL以下への回復が7日以内 1.8mg/dL以下への回復が7日を超える 1.8mg/dL以下への回復が7日以内 1.8mg/dL以下への回復が7日を超える	同一用量 1用量レベル減量 1用量レベル減量 中止
上記以外の副作用	Grade3	Grade1以下への回復が7日以内 Grade1以下への回復が7日を超える	同一用量 1用量レベル減量
その他	発熱性好中球減少症: 回復後、1用量レベル減量で再開 Grade1の関与性肺炎: 原則中止だが、所見が消失し、有益性が危険性を上回る場合のみ再開可 (1用量レベル減量) 以下のように減量 5.4mg/kg→4.4mg/kg→3.2mg/kg→中止		

投与中止の基準			
ANC	1000/mm ³ 未満	Hb	8.0g/dL未満
PLT	5万/mm ³ 未満	T-Bil	1.8mg/dL以上
その他	間質性肺疾患、症候性うつ血性心不全、発熱性好中球減少症 LVEF:①ヘースラインからの絶対値の低下が20%を超える②LVEFが40%未満③40%以上45%以下の場合:ヘースラインからの絶対値の低下が10%以上 Grade3以上のQT延長、下痢又は大腸炎、その他の副作用 Grade2以上のInfusion reaction		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日 (d1、d8等)
トラスツズマブ デルクステカン (エンハーツ)	5.4mg/kg	5%TZ 100mL	90分※	day1
※初回投与の忍容性が良好であれば2回目以降の投与時間は30分間まで短縮可能				

1日投与順
(経時的にプレメディケーション・ポストメディケーション、溶解液まで含む)

day1)
①パロノセトロン0.75mg「バッグ」+デキサート4.95mg (30分)
②5%糖液 50mL (フラッシュ用)
③エンハーツ5.4mg/kg + 注射用水5mL/V + 5%糖液100mL (90min※)
※2回目以降30分まで短縮可
0.2μmのインラインフィルターを用いて投与、ボトルを遮光
④5%糖液 50mL (フラッシュ用)

<内服>
day1)
アプレビタントカプセル 125mg
day2-3)
アプレビタントカプセル 80mg